

「今、子育てで何かお悩みですか。」そう尋ねられ、「いいえ、何もありません。」という保護者の方はおそらくいないと言えるでしょう。子どもを育てていくということは、失敗や反省の繰り返しで、毎日悩みはつきないはずで、「悩んで苦しんで辛い育児をしていくか。」それとも「前向きに明るい気持ちで毎日の子育てをしていくか。」そうです。「子どもたちの健全育成」を願うのならその答えは自ずとわかるはずで。

わかつてはいても、私自身、今振り返ると本当に悩んでばかりでした。生まれてすぐ黄疸の数値が高く、母乳を止められ、心配で眠れない夜を過ごしたものです。退院も遅くなり、泣けてきました。そんな時、義母が「家に早く帰っても大変なだけ。腹くくって。病院にいたら体も休まるから。」と私に檄を飛ばしてくれました。考え方一つで随分楽になりました。その後、初めての子育てで何もわからず、夜泣きがひどく、眠れない夜がいつまで続くのかと不安は募るばかりでした。噴水のようにミルクをはくから、育児書で調べ、幽門狭窄症かと病院へ連れていきました。すると、体重増加が著しくおそらくミルクの飲ませすぎで、病気の心配はないと言われ、ただ安心したことか。一緒に来ていた母は最初からわかっていたよう

で、私が納得し安心するよう病院まで付き添ってくれていたようです。その後も、「お座り・ハイハイ・つかまり立ちの時期が他の子より遅いのではないか。」「なかなか言葉がはつきり話せない。」「一歳になっても歯がはえてこない。」と悩みはつきませんでした。そんな時、保健師さんや周りの先輩ママたちから多くの情報をもらい、安心したものです。

今は誰かに聞かなくても、わからないことはすぐに「ネットで検索」できます。しかし、一人で解決しようと思わないでください。一人で悩まないで誰かに相談してください。年齢が上がるにつれ、悩みも大きく深くなります。一歩家を出ると、いろいろな壁があり、子どもたちは毎日懸命に闘っています。そんな子どもたちの元気の源は「居心地のいい明るい家庭」です。そして、「居心地のよさ」をつくる第一歩は、お父さん・お母さんの笑顔です。どうぞ、毎日の子育てを楽しんでください。（都留市では「地域子育て支援センター事業」を実施していますのでどうぞ利用してください。学童期のお子さんの相談は都留市教育センターへ問い合わせてみてください。）

連載・青少年健全育成シリーズ 第290回

「子育てを楽しんでいますか？」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています（10,500部発行）ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄